

記入例編

【様式1-1】記入例

自主防災会会則

(名称)

第1条 この会は、〇〇〇〇 自主防災会（以下「本

(事務所)

第2条 本会の事務所は、〇〇〇〇〇〇〇〇に置く。

(目的)

第3条 本会は、〇〇〇〇 自主防災会の地区の住民の生命と財産の保護のために、住民の隣保共同の精神に基づく自主的な防災活動を行うことにより災害による被害の防止と軽減を図ることを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 防災に関する知識の普及に関すること。
- (2) 火災、地震、台風に対する災害予防に関すること。
- (3) 災害の発生時における情報の伝達収集、初期消火、救出救護および避難誘導等の応急対策に関すること。
- (4) 防災訓練の実施に関すること。
- (5) 防災資機材の点検に関すること。
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事項。

(会員)

第5条 本会は、〇〇〇〇 自主防災会の地区の世帯をもって構成する。

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- | | |
|-----------|-----|
| (1) 会長 | 1人 |
| (2) 副会長 | 1人 |
| (3) 理事 | 若干名 |
| (4) 部長 | 若干名 |
| (5) 防災指導員 | 若干名 |
| (6) 監事 | 若干名 |

2 役員は、会員の互選による。

3 役員の任期は、1年とする。ただし、再任することができる。

これは一例を示したものです。
内容に定めは有りませんので、
各会で作成や変更いただいても
差し支えありません。

【様式1-1】記入例

（役員の任務）

第7条 会長は、本会を代表し、会務を総括し、災害等の発生時における応急活動の指揮命令を行う。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるときはその職務を行う。
- 3 理事および部長は、会務の運営にあたる。
- 4 防災指導員は、第4条に掲げる事業活動の企画、実施に参画する。
- 5 監事は、会の会計を監査する。

（会議）

第8条 本会に、総会、理事会および部長会を置く。

（総会）

第9条 総会は、全会員をもって構成する。

- 2 総会は、毎年1回開催するものとする。
- 3 総会は、次の事項を審議する。
 - (1) 会則の改正に関すること。
 - (2) 防災計画の作成および改正に関すること。
 - (3) 事業計画に関すること。
 - (4) 予算および決算に関すること。
 - (5) その他、会長がとくに必要と認めたこと。

（部長会）

第10条 部長会は、役員をもって構成する。

- 2 部長会は、会長が招集する。

（理事会）

第11条 理事会は、会長、副会長、理事および防災指導員によって構成する。

- 2 理事会は、会長が招集し、次の事項を審議し実施する。
 - (1) 総会に提出すべきこと。
 - (2) 総会より委任されたこと。
 - (3) 防災計画の立案に関すること。
 - (4) その他会長が必要と認めたこと。

（防災計画）

第12条 本会は、災害の防止および軽減を図るため、防災計画を作成する。

【様式1-1】記入例

2 防災計画は、次の事項について定める。

- (1) 地震、台風に関する警戒宣言発令時並びに災害の発生時における防災組織の編成および任務分担に関すること。
- (2) 防災知識の普及に関すること。
- (3) 防災訓練の実施に関すること。
- (4) 地震災害に関する警戒宣言発令時および災害の発生時における情報の伝達、収集、出火防止、初期消火、救護および避難誘導等に関すること。
- (5) その他必要な事項。

(経費)

第13条 本会の運営に要する経費は、区費その他の収入をもってこれにあてる。

(会計年度)

第14条 会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計監査)

第15条 会計監査は、毎年1回監事が行う。

2 監事は、会計監査の結果を総会に報告しなければならない。

附 則

1 この会則は、〇〇年〇〇月〇〇日から実施する。

- 「自主防災会会則」「自主防災会防災計画」は、年度ごとに新たに作成するものではなく、一般的に会の設立時に作成されています。
- いずれの様式も、内容変更の有無に関わらず提出してください。

【様式1－2】 記入例

〇〇〇〇 自主防災会防災計画

1 目的

この計画は、〇〇〇〇 自主防災会活動に必要
及び火災等による人的、物的被害の発生およびその抑

これは一例を示したものです。
内容に定めは有りませんので、
各会で作成や変更いただいても
差し支えありません。

2 計画事項

この計画に定める事項は、次のとおりとする。

- (1) 防災組織の編成および任務分担に関すること。
- (2) 防災知識の普及に関すること。
- (3) 防災に必要な物資および資機材の備蓄に関すること。
- (4) 防災訓練の実施に関すること。
- (5) 情報の伝達、収集に関すること。
- (6) 出火防止、初期消火に関すること。
- (7) 救出救護に関すること。
- (8) 避難誘導に関すること。
- (9) 給食、給水に関すること。
- (10) 衛生に関すること。
- (11) 避難所の運営に関すること。

3 防災知識の普及

地域住民の防災意識を高揚するため、次により防災知識の普及を行う。

(1) 普及事項

- ア 防災組織および防災計画に関すること。
- イ 地震、火災、水害等の知識に関すること。
- ウ 地区周辺の環境に応ずる防災知識に関すること。
- エ 各家庭における防災、防火の留意事項に関すること。
- オ その他防災に関すること。

(2) 普及の方法

- ア 広報誌、パンフレット、リーフレット、ポスター等の配布。
- イ 講演会、映画会等の開催。
- ウ パネル等の展示。

【様式1－2】 記入例

(3) 実施時期

火災予防運動期間、防災の日等防災関係諸行事の行われる時期に行うほか、随時実施する。

4 防災訓練

次の方法により防災訓練を実施する。

(1) 訓練の種別

個別訓練および総合訓練とする。

(2) 個別訓練の種類

ア 情報の収集伝達訓練

イ 消火訓練

ウ 避難訓練

エ 救出、救護訓練

オ 炊き出し訓練

(3) 総合訓練

2以上の個別訓練について総合的に行うものとする。

(4) 訓練実施計画

訓練の実施に際しては、その目的、実施要領等を明らかにした訓練実施計画を作成する。

(5) 訓練の時期および回数

ア 訓練は、原則として火災予防運動期間中並びに防災の日に実施する。

イ 訓練は、総合訓練にあつては年1回以上、個別訓練にあつては随時実施する。

5 情報の収集伝達

次の方法により情報の伝達、収集を行う。

(1) 情報の伝達収集

情報員は、必要と認める情報を地域内住民、防災関係機関等に伝達するとともに地域内の災害情報、防災関係機関、報道機関等の提供する情報を収集する。

(2) 情報の伝達収集方法

情報の伝達収集は、電話、テレビ、ラジオおよび伝令等による。

6 出火防止および初期消火

(1) 出火防止

【様式1－2】 記入例

災害時における火災の発生が被害を大きくする主な原因であるので、出火防止の徹底を図るため、毎月19日を「防火の日」とし、各家庭においては、主として次の事項を重点に点検整備する。

- ア 火気使用設備器具の整備およびその周辺の整理整頓状況
- イ 可燃性危険物品等の保管状況
- ウ 消火器等消火資機材の整備状況
- エ その他建物等の危険箇所の状況

(2) 初期消火対策

地域内に火災が発生した場合、速やかに消火活動を行い、初期消火が出来るように消火資機材の整備普及をはかる。

- ア 防火水槽ならびにその付近の整備
- イ 消火器、水バケツ、消火砂等の各家庭での整備

7 救出救護

(1) 救出救護活動

建物の倒壊、落下物等により救出、救護を要する者が生じたときは、ただちに救出救護活動を行う。この場合、現場付近の者は救出救護活動に積極的に協力するものとする。

(2) 医療機関への連絡

救出救護員は、負傷者が医師の手当を要すると判断されたときは、救急自動車の要請ならびに消防署指示による医療機関に搬送する。

(3) 防災関係機関の出動要請

救出救護員は、防災関係機関による救出を必要とすると認めたときは、防災関係機関の出動を要請する。

8 避難対策

火災の延焼拡大等により、住民の人命に危険が生じ、または生じるおそれがあるときは、次により避難を行う。

(1) 避難誘導の指示

碧南市長の避難情報が発令されたとき、または会長が必要があると認めたときは、会長は避難誘導班長に対し避難誘導の指示を行う。

(2) 避難誘導

【様式1－2】 記入例

避難誘導班長および避難誘導員は、会長の避難誘導の指示に基づき、住民を避難地に誘導する。

(3) 避難所

市指定の避難所および安全な箇所。

9 給食・給水

避難所等における給食および給水は、次により行う。

(1) 給食の実施

給食給水員は、市から配分された食料、地域内の家庭または米穀類販売業者等から提供を受けた食料等の配分、炊き出し等により給食活動を行う。

(2) 給水

給食給水員は、市から提供された飲料水、井戸水等により確保した飲料水により給水活動を行う。

10 衛生

被災地域の防疫は、会長の指示により衛生委員が行う。

(1) 被災地域の防疫活動

衛生委員は、市から配分された防疫資材により被災地域の防疫活動を行う。

11 避難所の運営

(1) 避難所開設担当者・施設管理者等と協力して避難所の開設・運営を行う。

(2) 避難者等の把握をする。

12 防災組織の編成および任務分担

災害発生時の応急活動を迅速かつ効果的に行うため、住民自治組織の組単位を基盤として、次のとおり防災組織を編成する。

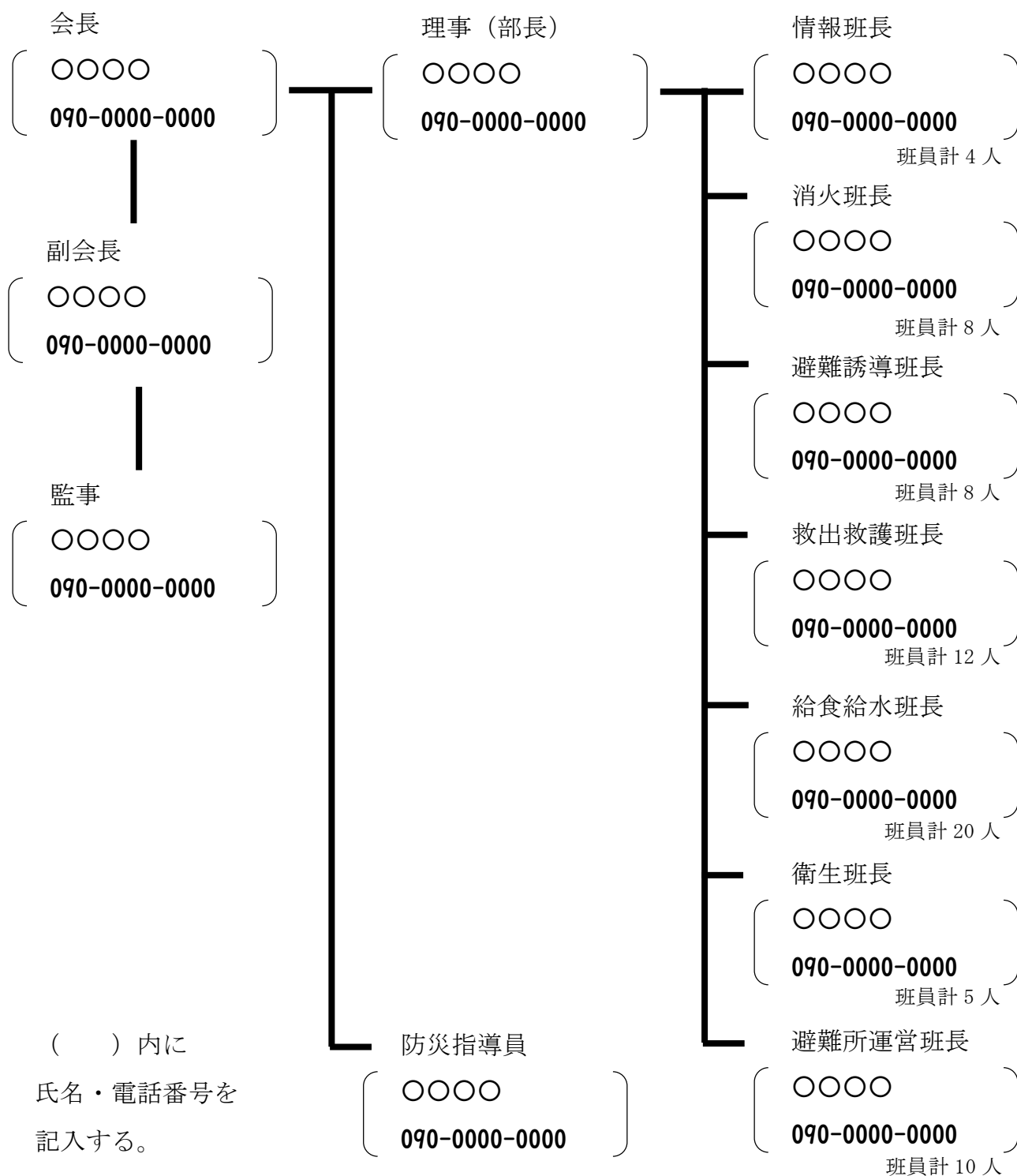
- 「自主防災会会則」「自主防災会防災計画」は、年度ごとに作成するものではなく、一般的に会の設立時に作成されています。
- いずれの様式も、変更の有無に関わらず提出が必須です。

自主防災会組織表

これは一例を示したものです。
組織編制や電話番号記入の有無等、内容に
定めは有りません。
班長に加えて班員の氏名を記入したり、班
の数や役職の数を増減する等、各会で作成
や修正いただいて差し支えありません。

自主防災会名 ○○自主防災会

会長名 碧南 太郎



○ 年度自主防災活動委託事業の実施計画

年 月 日

碧南市長 様

自主防災会名 ○○自主防災会

会長名 碧南 太郎

このことについて、下記のとおり申請します。

記

1 訓練内容等

(例) ハザードマップによる被害リスクの確認、ファーストミッションボックス訓練
 防災備蓄倉庫（コンテナ）資器材取扱訓練、初期消火訓練、津波避難訓練、
 可搬消防ポンプによる放水訓練、炊出・給水訓練、避難行動要支援者避難訓練

2 収支予算

収入の部

収入と支出の合計額は
一致させてください

科目	予算額	明細
委託料	100,000円	碧南市より
補助金	15,000円	○○区より
計	115,000円	

支出の部

科目	予算額	明細
訓練費	30,000円	参加者飲物 200人×100円=20,000円 参加者軽食 20人×500円=10,000円
資材補充費	79,000円	可搬消防ポンプバッテリー交換 4,000円 可搬消防ポンプガソリン入替え 7,000円 乾電池入替え 3,000円 携帯トイレ 20,000円 ヘルメット入替え 2,000円×20個=40,000円 LEDライト 1,000円×5個=5,000円
会議費	3,000円	出席者飲物 20人×100円=2,000円 会場借用費 1,000円
消耗品費	3,000円	印刷・コピー代 2,000円 養生テープ 1,000円
計	115,000円	

【様式2－2】 記入例

年 月 日

碧南市自主防災会連絡協議会会長 様

(依 頼 者)

住 所 (会長の自宅住所)

自主防災会名 ○○自主防災会

会 長 名 碧南 太郎

自主防災会振込口座報告書

○年度自主防災活動事業委託料は、以下の口座へ振り込んでください。

振込先

銀行名		碧南 信用金庫 信用組合 あいち中央農業協同組合 銀 行 市役所支 店														
口座種別		普通 ・ 当座				口座番号				0 1 2 3 4 5 6						
名義	フリ	○	○	シ	ゝ	シ	ュ	ホ	ゝ	ウ	サ	イ	カ	イ		○
	ガナ	○	○	○												
	氏名	○○自主防災会 ○○○○ (TEL : 090-0000-0000)														

- ・フリガナ欄の濁点は、1マスに記入してください。
- ・通帳の写し（口座番号・名義人の分かるページ）を添付してください。

自主防災会年間事業計画書

提出日 年 月 日

自主防災会名 **〇〇自主防災会**

会長名 **碧南 太郎**

- ・ 訓練や点検等を行う年間事業計画を記入してください。
- ・ 実施予定日は、具体的な日にちに替えて月単位での記入でも差し支えありません。
- ・ 訓練や点検等は、最低限行っていただく回数がそれぞれあります。
- ・ 参加人数は、ご自身が所属する自主防災会員の参加人数のみ計上してください。

1 街頭消火器（点検を1年に1回以上実施）

※管理する街頭消火器が無い自主防災会を除く

実施予定日	備考
〇月頃 日	
〇月 〇日	

2 防災備蓄倉庫（コンテナ）（点検を1年に1回以上実施）

実施予定日	参加人数	備考
〇月頃 日	5	
月 日		

【様式2－3】 記入例

- 3 ファーストミッションボックス（避難所開設の手順書）訓練（紐づけされた所定の避難所での訓練を1年に1回以上実施）

※訓練1か月前までに「自主防災会防災訓練計画書」【様式2－4】の提出必要

※訓練後1か月以内に「ファーストミッションボックス（避難所開設の手順書）訓練実施報告【様式2－5】」の提出必要

実施予定日	実施場所	参加人数	備考
○月頃 日	○○小学校	40	AED・消火器取扱い訓練と併せて実施
○月 ○日			

4 防災訓練

※訓練1か月前までに「自主防災会防災訓練計画書」【様式2－4】の提出必要

実施予定日	実施場所	内容	参加人数
○月頃 日	○○小学校	避難所開設訓練、AED・消火器取扱い訓練	40
○月 ○日			
月 日			
月 日			

自主防災会防災訓練計画書

碧南市長 様

提出日 年 月 日

自主防災会名 ○○自主防災会

会長名 碧南 太郎

下記のとおり防災訓練を計画しましたので、計画書を提出します。

記

1 計画概要

日時	○年 ○月 ○日 (○) ○時 ○分～ ○時 ○分
実施場所	○○区民館
参加人数	○○人

2 訓練内容

- ・ハザードマップによる被害リスクの確認
- ・ファーストミッションボックス訓練
- ・避難行動要支援者避難訓練
- ・消火器取扱訓練
- ・炊出し訓練

3 連絡事項等

- ・避難所開設訓練で防災ボランティアの指導を要望しました。
- ・可搬ポンプ取り扱い訓練で消防予備隊の指導を要望しました。
- ・水消火器○本と標的○個を訓練で使用するため消防署で借用しました。

4 その他

- ・水消火器の借用は、碧南消防署へ連絡してください
- ・非常食配布の希望 : 無し ・ 有り (

令和7年度は、在庫の関係から非常食の配布はできません

自主防災会ファーストミッションボックス(避難所開設の手順書)訓練実施報告書

碧南市長 様

提出日 年 月 日

自主防災会名 ○○自主防災会

会長名 碧南 太郎

下記のとおり訓練を実施しましたので報告します。

記

1 実施概要

日時	○年 ○月 ○日 (○) ○時 ○分～ ○時 ○分
実施場所	○○小学校
参加人数	自主防災会：○○人 住民：○○人

2 実施内容

実施項目	結果
ファーストミッションボックス 設置場所の確認	体育館出入口に設置されていることを確認
資機材倉庫の位置の確認	体育館南側に設置されていることを確認
キーボックス暗証番号	1 2 3 4
キーボックスの開閉確認	問題なく開閉できることを確認
その他	訓練は簡略型とし、上述の確認の他、安全班の 業務を行いました。

3 連絡事項等

- ・防災ボランティアの指導を要望しました。
- ・消耗品（黒マジック、単三乾電池）を新品と交換しました。

○ 年度自主防災活動委託事業の実施報告

年 月 日

碧南市長 様

最新の様式を使用してください。
(令和6年度から様式を変更していますが、旧様式で作成されている会がありましたのでご注意ください)

自主防災会名 ○○自主防災会

会長名 碧南 太郎

このことについて、下記のとおり報告します。

記

1 実施報告

- ・街頭消火器の点検、可搬消防ポンプの訓練・点検、防災備蓄倉庫（コンテナ）の点検、ファーストミッションボックス（避難所開設の手順書）訓練、防災訓練の内容を記入してください。

日付	時間	場所	参加人数	内容
○月 ○日	○時 ○分～ ○時 ○分	○○公園	12	可搬消防ポンプ取扱い訓練 ハザードマップによる被害 リスクの確認
○月 ○日	○時 ○分～ ○時 ○分	○○公園	12	防災備蓄倉庫点検
○月 ○日	○時 ○分～ ○時 ○分	○○小学校	35	ファーストミッションボッ クス訓練
○月 ○日	○時 ○分～ ○時 ○分	各地区	5	街頭消火器点検 初期消火訓練
月 日	時 分～ 時 分			
月 日	時 分～ 時 分			
月 日	時 分～ 時 分			

【様式3-1】記入例

月 日	時 分 時 分			
月 日	時 分 時 分			
月 日	時 分 時 分			
月 日	時 分 時 分			

2 収支決算

収入の部

科目	日付	入金元	金額	内容
委託料	4/1	碧南市より	100,000円	
補助金	3/20	〇〇区より	11,224円	
計			111,224円	

収入と支出の合計額は一致させてください。

【様式3-1】記入例

領収書の内容を転記する形で、
下表のとおり作成します。

支出の部

※支出に要した領収書の添付（写し可）が必要です。領収書の無い支出がある場合は、
事前に危機管理課へご相談ください。

科目	日付	支払先	金額	内容
訓練費	5/8	〇〇商店	3,430円	参加者飲物 35人× 98円=3,430円
消耗品費	5/8	コピー代	1,000円	50円×20枚
訓練費	5/10	〇〇ランチサービ ス	10,500円	参加者軽食 20人× 525円
資材補充費	5/12	ホームセンター〇 〇	3,900円	可搬消防ポンプバッ テリー交換
資材補充費	5/12	〇〇石油	6,572円	可搬消防ポンプガソ リン入替え 38.6L
訓練費	8/4	〇〇商店	4,900円	参加者飲物 50人× 98円
資材補充費	8/13	ホームセンター〇 〇	2,530円	乾電池入替え
資材補充費	8/13	ホームセンター〇 〇	22,000円	携帯トイレ
資材補充費	8/13	ホームセンター〇 〇	36,000円	ヘルメット入替え 1,800円×20個
資材補充費	8/13	ホームセンター〇 〇	5,280円	LEDライト 880円× 6個
訓練費	11/8	〇〇商店	4,704円	参加者飲物 48人× 98円
消耗品費	11/8	印刷代	1,320円	
会議費	1/10	〇〇商店	1,632円	参加者飲物 24人× 68円

【様式3-1】 記入例

支出合計額が10万円未満の場合は、差額を碧南市に返納いただきます(繰り越しは不可)。

【様式3－2】記入例

点検日： 年 月 日

碧南市防災備蓄倉庫(コンテナ)備蓄点検表

〇〇〇〇自主防災会

1 〇〇公園

※『確認した数』を記入してください。基準数に満たない場合や期限切れのものは更新してください。

● 生活用資器材		基準数	確認した数
延長コード	30m、容量22A、コンセント4口	1 個	1 個
懐中電灯	単一電池が6本必要	5 個	5 個
車椅子	ノーパンクタイヤを使用	1 台	1 台
下敷きマット	20m巻	4 本	4 本
ストロングライト	非常用照明(蛍光灯のようなもの) 発電機を電源とする	4 台	4 台
テント	2間×3間	1 張	1 張
手はかり	20kg用	2 個	2 個
バケツ	トタン製10個 プラスチック製10個	20 個	20 個
ポリタンク	20ℓ	5 個	5 個
ラジオ	単三電池が2本必要	2 台	2 台
ランタン	ソーラーまたは手回しで使用する	2 個	2 個
リヤカー	積載荷重180kg程度	1 台	1 台
センサーライト	単三電池が3本必要	1 個	1 個

● 生活用消耗品		基準数	確認した数
乾電池(単一)	※使用推奨期限を超過している場合は交換が必要	50 本	50 本
乾電池(単二)	※使用推奨期限を超過している場合は交換が必要	50 本	50 本
乾電池(単三)	※使用推奨期限を超過している場合は交換が必要	4 本	4 本
タオル		200 本	200 本
毛布		140 枚	140 枚
ろうそく	燃焼約12時間 マッチ付き	50 本	50 本

● トイレ		基準数	確認した数
簡易トイレ	ワンタッチトイレ 組立は簡単	3 台	3 台
災害用排便処理袋	汚物処理袋 200枚、凝固紙 200枚、保管用外袋 20枚	200 回分	200 回分
トイレットペーパー		24 巻	24 巻
トイレ用テント	ワンタッチトイレ用 組立は簡単	3 張	3 張

● 衛生用品		基準数	確認した数
大人用おむつ(S)		9 枚	9 枚
大人用おむつ(M)		9 枚	9 枚
大人用おむつ(L)		8 枚	8 枚
大人用おむつ(LL)		8 枚	8 枚
子供用おむつ(S)		54 枚	54 枚
子供用おむつ(M)		153 枚	153 枚
子供用おむつ(L)		126 枚	126 枚
生理用品(昼用)		880 枚	880 枚
生理用品(夜用)		140 枚	140 枚
尿とりパッド(男)		144 枚	144 枚
尿とりパッド(女)		225 枚	225 枚
救急箱	50人用	1 セット	1 セット
	安全ピン 1袋5本	5 袋	5 袋
	ガーゼ	10 枚	10 枚
	救急包帯 小	6 本	6 本
	三角巾ロール巻	20 巻	20 巻
	救急お手当法	1 冊	1 冊
	止血帯	2 個	2 個
	伸縮包帯 4裂	5 本	5 本
	副木 大中小3枚組	2 個	2 個
	体温計	1 個	1 個
	とげ抜き兼用ピンセット 大	3 個	3 個
	トーマーボトル(携帯用密ろ過器)	1 本	1 本
	バイリンホスピタル 大小(不織布)	5 枚	5 枚
	パワーステンレスハサミ	3 本	3 本
	ペン	3 本	3 本
	メモ帳	2 冊	2 冊
	ユートク紙絆 9mm×1m	3 枚	3 枚

【様式3-2】 記入例

● 発電機関係			基準数	確認した数
ガソリン用携行缶 (20ℓ)	※1缶は常に空に、もう1缶は毎年ガソリンの入れ替えが必要	発電機に使用	2 缶	2 缶
発電機 (0.9kW)	EM-23		1 台	1 台
発電機 (2.3kW)	EU-9i-JN		1 台	1 台

● 救助用資機材			基準数	確認した数
可搬ウインチ			1 個	1 個
混合ガソリン (1ℓ)	※1年に1回交換が望ましい	チェーンソーに使用	1 本	1 本
担架			2 台	2 台
チェーンソー			1 台	1 台
チェーンソーオイル (1ℓ)	※1年に1回交換が望ましい	チェーンソーに使用	1 本	1 本
万能斧	薪割りにも使用		2 本	2 本
バール (大)	1800mm		2 本	2 本
ブルーシート	3.6m×5.4m		100 枚	100 枚
メガホン	単二電池が6本必要		1 本	1 本
ロープ	200m 12mm径 ビニロン製		1 巻	1 巻
10型粉末消火器	碧南市防災課が管理		3 本	3 本
救助工具セット			1 セット	1 セット

		基準数	確認した数			基準数	確認した数			基準数	確認した数
	金のこ	1 個	1 個	小ハンマー	1 個	1 個	のこぎり	1 本	1 本		
	かませ木	2 本	2 本	専用カート(アルミ製)	1 台	1 台	防塵マスク	3 枚	3 枚		
	革手袋	3 双	3 双	平バール	1 本	1 本	ボルトクリッパ	1 個	1 個		
	剣先スコップ	1 本	1 本	爪付油圧ジャッキ	1 個	1 個	両口ハンマー	1 個	1 個		
	ゴーグル	3 個	3 個	テコバール	1 本	1 本	両つるはし	1 本	1 本		

● 炊出し関係			基準数	確認した数
カセットコンロ	4.1kw		24 台	24 台
カセットボンベ	3本パック×16個 使用期限7年		48 本	48 本
災害用食器セット	100セット×5(紙皿、紙コップ、紙ボウル、スプーン)		500 セット	500 セット
食缶	調理済みの料理を運ぶもの 給食のスープ等が入っていたもの		4 個	4 個
プラスチック皿			100 枚	100 枚
プラスチックボウル			100 個	100 個
薪	炊出し器用		5 束	5 束
やかん			2 個	2 個
炊出し器ガスバーナー (大型)			1 台	1 台
炊出し器ガスバーナー (中型)			1 台	1 台
炊出し器 (大型)			1 台	1 台
炊出し器 (中型)			1 台	1 台
炊出しセット	まかないくん基本セット		1 セット	1 セット

		基準数	確認した数			基準数	確認した数			基準数	確認した数
	お釜の木蓋	1 枚	1 枚	軍手	2 双	2 双	中杓文字	1 個	1 個		
	金たわし	2 個	2 個	すいのう(柄つきざる)	1 個	1 個	柄杓	3 本	3 本		
	木柄そば揚げ	1 個	1 個	大杓文字	1 個	1 個	フリースタンド	1 台	1 台		

● 食料品関係 (※碧南市防災課が管理)			基準数	確認した数
アルファ化米 (アレルギー対応)	保存期間 5年	50食入り×8箱	400 食	危機管理課管理
クラッカー	保存期間 5年	35パック×2缶×5箱	350 食	危機管理課管理
水	保存期間10年	0.5ℓ×480本	240 ℓ	危機管理課管理

自主防災会資材更新報告書(防災備蓄倉庫(コンテナ))

提出日 年 月 日

自主防災会名 ○○自主防災会

会長名 碧南 太郎

資料「各自主防災会が使用する防災備蓄倉庫（コンテナ）」で、**太字で表記**されている防災備蓄倉庫（コンテナ）がある自主防災会は、点検・記入してください。

☐ 該当あり（下表を記入）

☐ 該当なし（下表の記入不要）

資材	内容	点検年月日	結果
乾電池	使用推奨期限を超過している場合は交換が必要	令和5年 6月 10日	☐ 入替え済 ☒ 交換不要
ガソリン (ガソリン用 携行缶内)	ガソリン用携行缶内のガソリンは毎年入れ替える	令和5年 6月 10日	☒ 入替え済
カセット ボンベ	7年に1回交換が必要 次回は令和10年度に、各自主防災会にて更新を行う	令和5年 6月 10日	☐ 入替え済 ☒ 交換不要

連絡事項等

次年度自主防災会長報告書

年 月 日

(宛先) 碧南市危機管課長

自主防災会名 **〇〇自主防災会**

現年度会長名 **碧南 太郎**

下記のとおり、 〇 年度の 〇〇〇〇 自主防災会長を通知します。

記

フリガナ	ヘキナン ハナコ
氏名	碧南 花子
住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 碧南市〇〇町〇丁目〇番地
自宅電話	〇 5 6 6 - 〇〇 - 〇〇〇〇
携帯電話	〇 9 0 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇
メールアドレス (任意)	※日中の連絡がつきにくい方は、ご記入ください。 mail_address @ sample.com